

令和4年度 富洲原複合型サービスセンター「サービス評価」 総括表

※サービス評価委員：藤沢様      ※市町村職員：山岸様、大西様      ※地域住民：西岡様、黒田様、坂本様      ※地域包括支援センター：中嶋様 ※在宅介護サービスセンター：安田様      事業所職員：野島、田原						
出席者						
項目	内容	前回の改善計画	事業所意見	サービス評価委員	地域意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所のスタッフ全員で自己評価に取り組んだか</li> <li>・自己評価にスタッフの意見が反映されているか</li> <li>・改善計画は具体的か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●方向性を見失わないためにも、テーマを設け目標を掲げ取り組んで行く。今年度のテーマも「知識・技術の向上」を継続し、目標に「個別ケアのためのサービス向上」に取り組んで行く。</li> <li>●自己評価より、できていないところは改善し、できているところは発展できるようにサポートしていく。</li> <li>●サービス残業を無くす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各自、担当利用者については把握しプランに反映させたが、全ての利用者の把握についてはまだ不十分であった。</li> <li>●情報の共有は電子カルテやノートの活用で無駄をなくし時間の短縮に繋がった。</li> <li>●前年度に比べると少しずつできていることが増えてきた。お互いがカバーし合えるよう協力していた。</li> </ul>	スタッフ同士でのミーティング等で協力しあっていく	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「7. 運営」「8. 質を向上させるための取り組み」など、職員さんによって回答にバラツキが見られる項目が気になります。自己評価低い=取組みができていないというだけではなく、その職員さんの理想が高い可能性もあります。バラツキが大きかった項目はそもそも何をもち「できている」と判断するか、その認識を共有できていなかったのではないかと思います。(山岸)</li> <li>●それぞれ自己評価は確認させていただいた。例えば、情報共有に関し、利用者の変化等についてミーティングや電子カルテなどにより、スタッフ間において情報共有に努められていることは理解できた。今後も工夫を重ね、その共有に努めていただきたい。(大西)</li> <li>●始業時、終業時には情報の伝達が特に重要かと思えますので、より良いサポートに取り組んでください。(西岡)</li> <li>●今年度テーマ「知識・技術の向上」の具体的事項を示して、取り組むことが必要と思います。またその達成率を数値化する検討は何処ですか。(黒田)</li> <li>●各スタッフの自己評価をまとめ、ミーティングで、全体の評価として総評とする流れがすばらしい。貴センターの目標や運営が、1スタッフへと連動されていることに繋がっていると考えます。</li> <li>・「個別ケアのためのサービス向上」とは、どんな事柄がひとつでも良いので教えてください。(中嶋)</li> <li>●前回の課題に対する自己評価を見ると、個々の意識の高さを感じました。各利用者様により要望や対応がちがうなか、お互いをカバーし合える体制が職員間に見られるのは心強いと感じました。(安田)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電子カルテやノートを利用した情報共有「報・連・相」の徹底を行い、時間を有効活用する。</li> <li>●メンバーシップが発揮できるような体制作りを行う。</li> <li>●今年度のテーマ「モチベーションの向上」、目標に「明るく・楽しく・元氣よく」</li> </ul>

令和4年度 富洲原複合型サービスセンター「サービス評価」 総括表

※サービス評価委員：藤沢様      ※市町村職員：山岸様、大西様      ※地域住民：西岡様、黒田様、坂本様      ※地域包括支援センター：中嶋様 ※在宅介護サービスセンター：安田様      事業所職員：野島、田原						
出席者						
項目	内容	前回の改善計画	事業所意見	サービス評価委員	地域意見	今回の改善計画
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がされているか</li> <li>・事業所内・外に不快な音・臭いはなく居心地の良い空間か</li> <li>・日中、事業所の門・玄関に鍵はかかっているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新しい生活様式を踏まえ、居心地の良い空間づくりは継続し分かりやすい環境を整える。</li> <li>●常に危険箇所はないかの確認を行い、利用者様が安全に過ごせるよう気を配る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●昨年度同様、センター内で過ごす事も多かった為、季節を感じられるように室内装飾やイベント、レクレーションを工夫し毎日楽しく過ごしてもらえるようにした。家庭菜園や1のつく日の手作りおやつ の提供も継続した。</li> </ul>	安全・安心のできる場づくりを家族、地域の人と一緒に環境整える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●掲示物は毎月季節感のあるものに更新されており好感が持てます。ただ1階の玄関からダイニングへの導線が少し暗い印象があります。(夕方にお邪魔しているからかもしれませんが…)。</li> <li>・認知症のある利用者様が多いのであれば、「浴室」などのお部屋の看板？をもう少し大きく、イラスト入りのものにしていただいた方が方が分かりやすいかなと感じました。(山岸)</li> <li>●コロナ禍のために室内で過ごすことが多い中、室内を利用者の方々の作品で装飾するなど工夫も見られた。(大西)</li> <li>●事業所に入りやすい工夫は大切かと思いますが、不審者防止対策も考慮していただけたらと思います。(西岡)</li> <li>●季節感や時間的感覚を持つことは大切であり、引続き家庭菜園、手作りおやつ の提供は評価できます。(黒田)</li> <li>●家族や地域の方が気軽に入りやすいかどうかについては、感染対策上、新しい生活様式に沿った体制となるため、直接的な接触頻度は少なくなるのが現状であると考えます。・利用者にとって居心地が良いかどうかについて、新しい生活様式に応じた取り組みをされていることに評価が出来ると思います。具体的には、感染対策を継続されている事、季節を感じる事ができるように室内装飾等を行われた事。・利用者さんの生活環境として、不快な音や臭いはない。玄関等の管理方法は、利用者様の安全確保を踏まえた管理方法がなされていると考えます。(中嶋)</li> <li>●目にも気分的にも楽しくなるような魅力的な掲示物はとても好感がもてます。スライドを見させていただく中で利用者様達が楽しげに作られている姿も心惹かれます。居心地の良さ雰囲気の良いものがつつわって来るように思います。(安田)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用日が心待ちになるような活動や空間作りを行い、笑顔が増える日を多く作る。</li> <li>●危険箇所や安全確認は常に行い、利用者様が安心して過ごせるよう気を配る。</li> </ul>

<p>出席者 ※サービス評価委員：藤沢様 ※市町村職員：山岸様、大西様 ※地域住民：西岡様、黒田様、坂本様 ※地域包括支援センター：中嶋様</p> <p>※在宅介護サービスセンター：安田様 事業所職員：野島、田原</p>						
項目	内容	前回の改善計画	事業所意見	サービス評価委員	地域意見	今回の改善計画
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の挨拶・態度はきちんとしているか</li> <li>・事業所は、地域の方に知られているか</li> <li>・事業所のスタッフは地域の行事やイベントに参加しているか</li> </ul>	<p>●地域の行事やイベントの参加は勿論だが、Withコロナも踏まえそれ以外での地域との関わりを増やす。</p>	<p>●今年度は、夏祭りで協働しようとしたが中止になり残念だったが消防訓練へ参加をさせて頂いた。また事業所を知ってもらうために、奉仕作業への参加も始めた。</p>	<p>地域に向いて、社会福祉活動に参加できるように。例えば、保育園、幼稚園、小学校、中学校に事業所へ来ていただく。 事業所のPR活動を自治会・社会福祉協議会・民生委員会に回覧をして頂く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自己評価も拝見しましたが、コロナ禍の中で地域や他機関とのかかわりがどうしても少なくなってしまうという葛藤が何うかがえます。コロナの5類移向を受けて、これから少しずつ地域行事も復活してくるのではないかと思います。「かかわりたい」というお気持ちは感じられますのでタイミング良く連携できることを期待しています。(山岸)</li> <li>●文化祭や防災訓練でお見かけしたが、特に、文化祭への参加の折りには施設利用者の方々の喜んでいる様子が伺えた。併せて、スタッフの方々のご苦勞も垣間見ることができた。(大西)</li> <li>●年末行事のもちつき等も再開できたらいいかと思えます。(西岡)</li> <li>●コロナ感染症対応の変更により、外へ出る機会も増えるので地域の行事に参加が望まれます。(黒田)</li> <li>●スタッフの方々の接遇は、丁寧で、感じ良くなされています。 ・地域の方に貴施設について周知されているかどうかは、運営推進会議で知名度が低いとの意見は耳にすることがないため、一定のレベルで浸透していると考えます。 ・コロナ禍であるが、消防訓練、奉仕活動へ参加されているのが評価できると考えます。(中嶋)</li> <li>●コロナ禍では1人暮らしの方やご家族ともに複合型のメリットを強く感じられたのではないかと思います。複合の良きメリットを広くアピールでき地域にある強みと感じていただけるよう地域行事など関わりを持つ機会が増え多くの方に複合の良さがつたわることを願います。(安田)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域行事やイベントへの参加、奉仕作業を継続する。</li> <li>●地域の方と関われる機会を増やし交流をはかる。</li> </ul>

※サービス評価委員：藤沢様      ※市町村職員：山岸様、大西様      ※地域住民：西岡様、黒田様、坂本様      ※地域包括支援センター：中嶋様 ※在宅介護サービスセンター：安田様      事業所職員：野島、田原						
出席者						
項目	内容	前回の改善計画	事業所意見	サービス評価委員	地域意見	今回の改善計画
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者を事業所の中だけに閉じ込めていないか</li> <li>・利用者は地域の行事やイベントに参加しているか</li> <li>・利用者以外の近所の方などへも、事業所は関わっているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者さんの住んでる地域を知るためMapの作成を行い、地域の理解と暮らしを支える資源の確認を行い、支援につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コロナの感染状況を見ながら、ドライブでの花見、イオンでお茶、文化祭への参加を行った。</li> <li>●Mapというよりただの地図になってしまったので改善が必要。</li> </ul>	長寿会、市民センター事業の集まる場での、アピール活動を。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●複合型サービスというサービス形態を知っていただくためにも、事業所側から地域へのアプローチは必要かと思えます。コロナ禍で難しい点多かったとは思いますが、今年度から始めた「ふくごう通信」を活かして、利用者の方々と地域の方々を上手くつなげることができないかな…と思ったりします。富洲原在介さんとも協働して認知症カフェやサポーター養成講座などができるかと最高ですが…。(山岸)</li> <li>●コロナ禍であったため、施設利用者が地域に出向くことは制限があった、やむを得ないと感じている。また、訪問看護はきめ細かいサービスを提供してもらっていると理解している。(大西)</li> <li>●昭和時代の地域の地図(商店等)作りを利用者と話し合っははいかがでしょうか？(西岡)</li> <li>●コロナ感染症対応の変更により、外へ出る機会も増えるので地域の行事に参加が望まれます。(黒田)</li> <li>●コロナ禍であるが、文化祭への参加、イオンでのお茶、ドライブによる花見をされていることが評価できると考えます。</li> <li>・利用者さんの住み慣れた地域をもっと知るため、MAP作成に取り組みましたが、受けでなく、貴センターから地域をしろうとする姿勢が評価できると考えます。(中嶋)</li> <li>●コロナ禍で積極的に地域に出る事が難しい時期ではありましたが、近くに複合サービスがありどの様な方に、特にメリットに感じられる様身内に1人暮らしの方がいるこれからの介護に不安を感じている家族さん達に知ってもらえる取り組みもできると良いのではないのでしょうか。(安田)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者の住んでいる地域をもっと知る。</li> <li>●事業所周辺の資源Mapの作成を行い支援につなげる。</li> </ul>

令和4年度 富洲原複合型サービスセンター「サービス評価」 総括表

出席者						
※サービス評価委員：藤沢様		※市町村職員：山岸様、大西様		※地域住民：西岡様、黒田様、坂本様		※地域包括支援センター：中嶋様
※在宅介護サービスセンター：安田様		事業所職員：野島、田原				
項目	内容	前回の改善計画	事業所意見	サービス評価委員	地域意見	今回の改善計画
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の取組みが分かりやすく説明されているか</li> <li>・地域の心配な方等の事例検討が行われているか</li> <li>・運営推進会議で出た意見を改善につなげているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業所の取組みを知ってもらうために、家族や利用者さんの声を発信していく。</li> <li>●運営推進会議をより有意義なものにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業所の取組みや家族の声が届くよう、映像で見てもらうようにした。どんなところか理解してもらい、改善が必要などあれば運営に反映していきたい。</li> </ul>	地域の人々の意見を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●運営推進会議で活発に意見が出ており、事業所さん側が真摯に対応しようとしている姿勢が伝わってきます。地域のキーパーソンの方々に事業所さんのことを知っていただくことで、地域とのかかわりのチャンスが増えていくと思います。年度初めの方で「看多機とは」というDVDを観ていただいた試みはよかったです。 (山岸)</li> <li>●映像をとおしての報告によって、日頃の施設内での様子は理解しやすかった。その会議での意見もふまえ、運営改善が図られているものと思っています。 (大西)</li> <li>●コロナにより引きこもりの高齢者が増えたかと思えます。各団体に声かけをして、一人暮らしの方を訪問してみたいかがですか… (西岡)</li> <li>●「ふくごう通信」の発行、ビデオによる事業所での様子などを取り入れたことは、運営面の改善に反映できるので評価できます。今後も継続を望みます。 (黒田)</li> <li>●運営推進会議において、映像による日頃の様子を見る事が出来、言葉よりもより明確にご様子がわかるので ありがたく、喜ばれている様子を見てうれしい気持ちになります。 (中嶋)</li> <li>●始めに複合型サービスとは…「看多機とは…」とDVDを使いおしえていただき理解が深まりました。それらを多くの方が知る機会があれば複合型の利便性をより感じていただけたと思います。 (安田)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スライドでの事業所の様子は今後も継続し、映像での実際の様子なども伝えていく。</li> <li>●運営推進会議をより有意義なものにする。</li> </ul>

※サービス評価委員：藤沢様      ※市町村職員：山岸様、大西様      ※地域住民：西岡様、黒田様、坂本様      ※地域包括支援センター：中嶋様 ※在宅介護サービスセンター：安田様      事業所職員：野島、田原						
出席者						
項目	内容	前回の改善計画	事業所意見	サービス評価委員	地域意見	今回の改善計画
F. 事業所の防災・災害対策	事業所は、地域の防災訓練に参加しているか  事業所の防災計画・防災訓練の内容は把握できているか  災害時、事業所は頼りになるか	●BCPの作成。	●現実的なBCPを作成するに当たり、地域の防災訓練に参加させて頂いた。現状を踏まえ早急に作成する。	自治会の防災訓練に参加する。事業所が防災訓練を地域の人々と一緒に行っては、自治会の協力を得て行う。	●水害リスクが高い立地であることから、きっと防災備蓄などの備えはされているのだろうと思います。BCPの策定はもちろん大切ですが、有事のときに「誰が」優先順位を決めてトラブルを解決していくのか、職員さんの間でのイメージの共有が重要ではないかと思います。（山岸） ●事業所における対策は検討中の内容もあるようだが、地域での防災・災害対策における情報提供の協力は可能である。（大西） ●現実として防災・災害対策はかなり困難かと思えます。利用者の家族と共に話し合いの場を作ってみてはいかがでしょうか。（西岡） ●引続き、事業所内での検討が必要です。（黒田） ●BCP作成は、様々な分野においても作成が求められている状況下であり、一先ず作成したBCPを机上訓練でいいので、運用をイメージした訓練を行うと、さらなる課題が見つかるかと専門家よりお聞きしたことがあります。一方職員も被災者となるため、法人または施設として、発災直後における職員の動きに関して、指針をお示されることが良いと思います。（中嶋） ●地域から災害の不安が多い事もあり、ハザードマップなど活用し避難時の優先すべき事を職員全員で話し合い把握し優先順位を決め「見える化」できると、職員の方の不安も軽減するのではないかと思います。（安田）	●地域の防災訓練への参加。 ●BCPの作成を行い周知する。 ●年2回の防災訓練は勿論、夜間の防災訓練も1回行う。